

平成28年度「学力・学習状況」検証事業研究状況報告書（概要）

研究課題

「わかる・できる」楽しさを知り、進んで学習に取り組む児童の育成

1 学校紹介

富津市立富津小学校 学級数 9（2） 全校児童数 217名

2 研究主題

全国学力・学習状況調査のデータ等から、自校の学力・学習状況を把握・分析し、「ちばっ子『学力向上』総合プラン」等の事業を活用し、課題解決に向けて取り組む。

学校における学力向上に向けた継続的な検証改善（PDCA）サイクルを確立し、その成果の普及を図る。

3 研究の概要

（1）学力向上のための取組

①校内研修

・『「わかる・できる」楽しさを知り、進んで学習に取り組む児童の育成』という研修テーマで進めている。本年度は特に、基礎的・基本的事項の定着を図りつつ、思考力・表現力をつけるための指導改善に努めている。

②授業改善 ～「書いて考える力」の育成～

・セルフチェックシートの中に指導過程のどの場面で「書く活動」を位置づけたか、どんな手立てを講じたかを明記する欄を本校独自に設け、自己の授業の振り返りを行い、授業改善に取り組んでいる。

・毎学期、ベストノート賞を授業部門と自学部門に分けて各学級で選考し、表彰している。

③校内指導体制

・算数を中心として、教頭・教務主任・加配教員等による T.T 指導を行っている。また、単元や習熟度によっては、少人数指導も行っている。

④教育課程

・日課時程の月曜から金曜の清掃終了後、13:35 ～ 13:45 の10分間を「チャレンジタイム」として、基礎的・基本的事項の定着のための時間を設けている。

⑤授業外の取組

・家庭学習カードを全校で取り組み、学習時間、内容等を毎日記入している。月末には月の集計を行い、その結果を廊下掲示するなどして、やる気の啓発につなげ、家庭学習の充実を図っている。

・基本的な生活習慣（睡眠など）の形成に向けて生活チェックカードを活用しながら、家庭との連携を図っている。

（2）加配教員の活用

・落ち着いた学習環境を整えることが聞く姿勢につながり、ひいては学習の定着につながっていくと考える。担任一人の指導では限りがあるため、T.Tによる指導や少人数指導によって、より良い学習環境を整えるような努力をしている。

4 今後の課題

・今後の取組を充実させるための一つとして、ちばっ子「学力向上」総合プランの活用を考えていきたい。どのような方法が効果的であるのか考え、取り組み、検証していきたい。

・家庭学習や生活習慣の形成については、保護者の理解や支援、協力によるところが大きい。そこで、学校での取組を情報発信し、保護者の意識啓発をさらに進めていく。